



2024年度 ことり くらすだよ

教養教会幼稚園 園長 有岡史季

2月10日 発行 執筆者 吉野とみみ



立春を迎えましたが、寒い日が続いています。あたたかい春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。3学期に入り、園生活の中で色々な事に意欲的に挑戦してみる姿が多く見られます。素晴らしいです。残り少ないことり組での日々を大切に、ゆったりと過ごしていきたいと思ひます。

さて、今回のクラスだよりは生活発表特別号です!!見どころや取り組みの様子、題材に込めた原想いをお伝えします!!

「ブレーメンのおんがくたい」 作:グリム兄弟

～あらすじ～

年とり、働けなくなったらは「は、ブレーメンの町に行き、音楽隊に入ろうと思ひ立ちます。道を歩いていくと、同じく飼いまから必要とされなくなった犬、猫、いねとりに出会います。動物たちは「ロバに誘われ、一糸にブレーメンを目指します。日が暮れるまで歩き、疲れた動物たちが「休もうとすると、遠くに「火灯籠」見えます。そこにはなんとどろぼうたち!!。ご馬也走が「沢山あることま矢口った動物たちは、どうにかしてどろぼうを追い出そうと相談し、ある作戦を思ひつきます!力を合わせることに!!必要なこの作戦は...

～教師の原想い～

處りの取り組みを通して、お友達がいることの尊さに気付き、力を合わせて一つの處りを仕上げていく楽しさを分ちあひ、て欲しいと思ひました。セリワや動き楽しみなから覚え喜んで「演じることはもちろん、小道具や大道具を作る時にも友達と協力しながら楽しく取り組むことができるように... また そんな風に、楽しさを共有して目標に向かい取り組み姿は動物たちが「ブレーメンの町を目指したり、力を合わせてどろぼうを追い出そうとしたりする お話「ブレーメンの音楽隊にも通じているように思ひました。この處りをみんなですることで「一緒に楽しむこと」の喜びを知り、これからの園生活の糧に繋げていけたらと原想っています。

～取り組みの様子～

導入として「なりきり遊び」を行い、子どもたちといろいろな動物になりきって遊びました。その後、系会本と丁寧に読むと「さまたしい動物仲間が「出てきた!」と自然に系会本の世界に気持ちか「寄り添います。「も、と続きかしたという声か「あか!!、今度は系会本の流れに沿って泥棒になり、みたりしながら處りごころを楽しみました。すると「もう一回やりたい」と更に意欲も高まり、子どもたちはどんどんおはなしの世界に引き込まれていきました。教師が「知や背景かあるともっと楽しくなるよ」と問いかけると子どもたちからは「ご馬也走か「いる!」 靴や声か「あったらいい!」 「大きな橋に系会を描きたい!」 「お面も欲しい!」とさまざまアイデアか「生まれます。生活大王ごころに何を作りたいか相談し、みんなでするご馬也走等の小道具を制作して持した。出来上がったものを泥棒の紅草を真似して食べてみたり、気持ち良く寝ている動物仲間か「起こされたらどんなふうに怒るかな?」と想像を膨らませながら更に表現遊びを広げ、處りへと繋げていきました。

～見どころ～

- ★ブレーメンの町を目指動物たちの誘い掛ける紅草は子どもたちが考えました。また、泥棒が楽しんで食事をする姿、泥棒を追い出そうと一生懸命に作戦を決行する姿等、1つ1つの表情見かとても可愛いらしいです。★本物も、くり!!大きさに目を見張るご馬也走の小道具や家や暖炉等の大道具は子ども達か協力し合い丁寧に制作しました。★動物たちのお面や泥棒のベストは11月から大切に作り作り個性豊かな物に仕上がりました。どうぞお楽しみに!!

歌「ドレミのまほう」

「どんな夢もかなう」「さあ手を繋いで」「一緒に遊ぼうよ」など「ロズさむとどんどん 明るく気持ちになっていく曲です。ことり組の子ども達か友達と楽しい事に夢中になりながら心豊かに成長していき欲しいと原想いを込めて選曲しました。テンポの良い歌か「大好きで伸びやかに歌うこと楽しんでる子ども達です。声と心を合わせて歌います!お楽しみに!★

頑張り屋さんか子ども達です。緊張もあると思ひます。当日は子どもたちのありのままの姿を支えたいと思ひます。あたたかな眼差しをお願ひします。

